

# 花水木だより

花水木鯨城会  
創立 30 周年記念号

第 89 号 令和 2 年 8 月  
千種区鯨城会会報  
発行/花水木鯨城会



〈 花水木鯨城会の輪を拓げよう 〉

## 目 次

表 紙	1
目 次／表紙の言葉	2
特 集 花水木鯨城会創立 30 周年記念	
会長挨拶	3
30 周年委員長挨拶	4
来賓祝辞	5・6・7
歴代会長祝辞	8・9・10A
30 周年記念投稿	10B
花水木鯨城会のあゆみ	11・12・13
地域委員会	
地域長会議報告／地域会役員一覧	14
今池地域会／振甫地域会	15
若水地域会／城山地域会	16
東星地域会／千種台地域会	17
千種地域会	18
行事委員会 地域会交歓ボウリング大会	19A
社会奉仕委員会 社会奉仕活動トピックス	19B
総務委員会 令和 2 年度新任役員・運営委員紹介	20・21
同好会訪問記	
ウオーキング同好会／パソコン同好会	22
はなみずき健康体操クラブ	23
会員投稿	
高齢ドライバーの運転免許証の取り扱い	24・25
ブリッジと私	26
千種社協ニュース／編集後記	27
今後の行事予定／次号予告（裏表紙）	28

### 表紙の言葉



### 「感動！興奮！熱気！」

真夏の名古屋を舞台に繰り広げる日本最大級の踊りの祭典、にっぽんど真ん中祭り。国内外から集結する約 200 チーム 23,000 人が地域色豊かな踊りを披露します。それぞれのチームが情緒ある地域文化をリズムカルにアレンジした音楽にのせて、華やかな衣装や目を見張るほどの演出を繰り広げます。そして何より、踊り手一人ひとりの素敵な笑顔が見ている人に元気や感動を与えてくれます。

久連石 一彦（24 期 地域）

# 花水木鯨城会創立 30 周年記念



創立 30 周年を迎えて



花水木鯨城会

会長 二宮 敏夫 (30 期 福祉)

花水木鯨城会は平成 3 年 4 月に結成され今年で 30 周年を迎えます。この記念すべき年に会長を仰せつかり、誠に光栄に思っています。

昨年、「花水木鯨城会 30 周年記念事業実行委員会」を設置して準備を進めてまいりました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、会員皆様の健康第一を最優先し、断腸の思いで「総会・30 周年記念式典」を中止させていただきました。日頃お世話になっております千種区・千種区社会福祉協議会・鯨城学園のトップの方をお迎えして、盛大にお祝いをする予定でしたが、残念でたまりません。皆様方のご理解をよろしくお願いいたします。

なお、30 周年の記念として「ポケットルーペ」を配布させていただきましたので、末永くご利用していただければ幸いです。

さて、皆さまに配布させていただいております「花水木だより」も平成 10 年 7 月に第 1 号が創刊されて今回で 89 号を迎えます。皆様方からのご支援とご支持の賜物と深く感謝いたします。引き続きご愛読していただきたいと思っております。

本会の発足当時から、会員の年齢構成や会員数も大きく違ってきており、私達高齢者の価値観も多様化していますが、一人ひとりの生活リズムに合わせて無理をせず、気張らずに継続していくことを大切に活動してまいりたいと思っております。これからも、会員の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、会員の皆様の活動を陰ながら支えていただいておりますご家族の皆さまに厚くお礼を申し上げます。



30周年記念事業実行委員長  
大村 悦郎 (30期 生活A)

この度の30周年記念号には、30年のあゆみ (P11~13) を掲載しました。

内容につきましては、諸先輩に当時のご苦勞をお聞きしたほか、創刊以来の「花水木だより」バックナンバーをご提供いただき、記事を読み返し編集しました。

活動の中心となっています社会奉仕活動は、現在まで色々行われましたが、当初においては、高齢者や子供達及び身体的弱者の日常行動のお手伝いなど、施設内でピンポイントに行われたものが多いようです。会員の増加につれてより公共的に、多くの会員が参加する清掃キャンペーン活動などに中心が変化してきているように思います。

その中で驚きますのは、「茶屋ヶ坂公園清掃」が花水木設立当初に始まり30年、「デイサービス支援」が千種区在宅サービスセンターの開所以来で20年、その他児童館等支援活動の多くが10年以上の歴史があることです。これらは公共のキャンペーン活動と合わせて今後も永く受け継がれる活動であろうかと思えます。

ボランティア活動のかたわら、会員の趣味・才能を披露する場として毎年秋に開催される「趣味の作品展」は、昨年16回目となりました。また仲間と楽しく競い、或いは技術を磨く“同好会”は、14種を数え、多くの会員が健康や親しい仲間づくりに努めています。いずれも活動内容や成果が「花水木だより」に掲載され、花水木活動の充実に大いに役立ってきました。

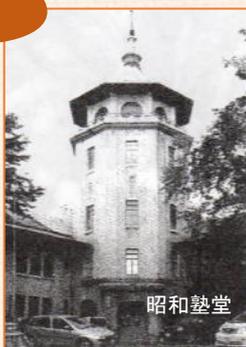
今後も多くの仲間を迎え入れながら楽しく活動が続くことを願っています。

歴史ピックアップ

平成18年~24年

千種区再発見現地レポート

第17期~25期の会員により  
6年間にわたって連載された  
千種区内研究レポートの写真



昭和塾堂



桃巖寺



福寿山大龍寺



揚輝荘



相応寺

## ご祝辞

### 花水木鯨城会創立 30 周年を祝して



名古屋市千種区長  
西野輝一

この度は、花水木鯨城会の会員の皆様、創立 30 周年、誠におめでとうございます。

皆様が、永年にわたり、数多くの社会奉仕活動に真摯に取り組まれてきたことに対し深く敬意を表します。

貴会の 30 年の歴史は、言葉では簡単ですが、これまでの様々な活動の積み重ねは、どれ程のものか、一言では言い尽くせないものと思います。

貴会は、平成 3 年に千種区在住の名古屋市高年大学・鯨城学園卒業者で設立され、学園生活で学んだ知識や経験を生かして地域社会へ貢献し続けることで、その理念に賛同する仲間を増やし、発展を遂げてこられました。

今では、290 名もの会員を擁し、クリーンキャンペーンや社会福祉などのボランティア活動に積極的に参加していただき、『住みたいまち 住みやすいまち 千種区～暮らしやすさを実感できるまちを目指して～』の実現を目指す当区といたしましても、皆様方の活動を大変心強く思っているところでございます。

近年の地域における課題は、少子高齢化の進展とともに、外国人住民の増加に伴い、益々複雑多様化しております。

このような中で、地域住民がみんなで支え合うことが必要であり、皆さまの活動の地域社会における役割は、ますます重要なものとなるものと認識しております。

30 年を節目として、良き伝統を受け継ぎ、さらなる活動の充実と発展されますよう、心からお祈り申し上げお祝いの言葉とさせていただきます。



R1.6 月 クリーンキャンペーン



R1.10 月 千種区民まつり

30周年おめでとうございます



名古屋市千種区  
社会福祉協議会  
事務局長

水野道明

花水木鯨城会創立30周年、誠におめでとうございます。  
この日を迎えることが出来ますのも、長年にわたる関係者の皆様のご尽力の賜と、敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げます。

また、鯨城会の皆様には、本会の運営に多大なるご理解、ご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

本会では、「つながる・ひろがる・かよいあう～誰もが安心して生活できる千種区のために～」を基本理念に、区民の皆様や関係機関等とともに、現在、第4次地域福祉活動計画（令和元年度からの5カ年計画）に基づき、各種事業を実施しております。

花水木鯨城会の皆様方には、これまでデイサービス利用者の介護支援、コーヒーサロンの運営、キラキラ★サンタ事業ではサンタクロースとトナカイとして、児童館では四季折々の行事にご協力いただき、本会の事業を支えていただいております。

また、昨年からは在宅サービスセンターの正面玄関を整備し、きれいな花で飾っていただき、プランターを使用してキュウリやトマトの栽培を手掛けて、収穫した野菜をデイサービスの利用者の食事として提供していただきました。

こうした皆様の活動は、まさに名古屋市高年大学鯨城学園の教育目標の一つである社会的活動への参加の実践であり、皆様の知識、経験を地域活動に還元していただくことが、地域課題を解決していくために必要なことだと考えております。

最後になりますが、これまでの30年の歩みをステップとして、これからも千種区の福祉の向上のために、活動を継続していただき、会員の皆様も生涯現役でご活躍され、貴会がますますご発展されることを心からお祈りいたしまして、わたくしのお祝いの言葉とさせていただきます。



R1.12月 キラキラサンタ



R1.11月 デイサービス



R1.12月 コーヒーサロン

30周年おめでとうございます

花水木鯨城会の皆さま、創立30周年おめでとうございます。



名古屋市  
高年大学鯨城学園  
副学長

南谷定昭

貴会が平成3年4月にスタートした時点では39名の会員数であったと伺っております。今では290名を超える会員規模を誇るまでに発展したのは、ひとえに役員、会員の皆さまの30年にわたる日々のご努力の積み重ねによるものと、心から敬意を表する次第です。

皆さま方は、デイサービスセンターにおける介護支援や地元の公園清掃、児童館における各種行事への支援活動など地域に密着した活動から、毎年恒例の「名古屋ウイメンズマラソン」の沿道整理などの支援、「名古屋市こころの絆創膏キャンペーン」事業の支援など市全域に及ぶ活動まで実に多岐にわたる実践活動をされておられます。心より敬服いたします。

昭和61年4月に「地域での活動の核となる人材の養成」を建学の柱に掲げ開校した高年大学鯨城学園も35年目を迎えました。1万3千人を超える卒業生を送り出し、皆さま方のようにそれぞれの地域で学園設立の趣旨を体現していただいていることは後輩諸氏にとっても実に頼もしい限りです。鯨城学園で学ばれた皆さまがクラスやクラブ活動を通じて培われた仲間との友情を育み、卒業後にワンチームとして地域で結集され活動されておられることに感動を覚えます。

こうした良き伝統が脈々と受け継がれ、ますます発展されますよう祈念いたしますとともに、これからも高年大学の運営に格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。お祝いの挨拶とさせていただきます。



H31.3月 ウイメンズマラソン



R1.9月 こころの絆創膏

## 花水木鯨城会 30 周年に寄せて

平成 23 年発行の 20 周年記念誌に続き、今回、14 代（平成 22 年度）から 21 代（平成 30 年度）の会長の皆様に原稿をお寄せ頂きました。

### 「老いを生きる」

14 代（平成 22 年度）会長 水野 茂樹（20 期 文化 A）

鯨城学園に入学以来はや 15 年になる。新しい友人や仲間との「旅行、スポーツ、趣味、見学等」に参加して充実した楽しい日々を過ごしてきた。しかし乍ら 75 歳を境に肉体的にも、精神的にも老いを強く感じ始めた。自分が社会の中で徐々に弱くなっていくのを肌で感じる。働いていない事から来る金銭的な不安、老化から来る衰え、刺激のない退屈な毎日の生活で自分が小さく萎んで行く様に感じ始める。当てもなくただ外出するのが日課になってきた。年を経る毎に知人、友人の数が少しずつ減っていくのを見聞きしていると寂しくなってくる。

老いの哀しみ、孤独。先のことではなく、明日はどう過ごそうか、今日一日をどうやって暮らそうか。そんなことしか考えなくなってしまった。

大した活動も出来なくなかったが、花木のハナミズキの如く、花水木鯨城会も強く逞しく、土壌を選ばず、公害に強く、丈夫で大きく成長して季節には美しい花を咲かせてほしい。

### 「伸ばそう健康寿命！」

15 代（平成 23 年度）会長 塚原 義政（21 期 生活 A）

花水木鯨城会に入会して 12 年、20 周年記念で茶屋ヶ坂公園に記念植樹した「区の木・花水木」の苗木は、大きく成長し、綺麗な花を咲かせ、訪れた人を楽しませるようになり、歳月の過ぎ去る速さを実感しています。

また、その時に近隣の会員が集い合う「中学校区地域会」を設立し、地域の仲間と交流・談笑する楽しみができ、脳細胞の活性化にも役立っています。

コロナ騒動のさなか、WHOでは、新型コロナは「消滅しない可能性」、終息には長い道のりになると示唆。「3密」を回避しながら「新しい社会様式」の定着を求めています。

一方、老年医学専門医集団では、「フレイル(虚弱)予防」のためには.....

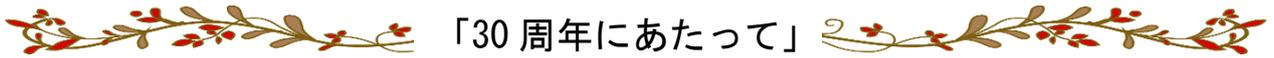
「運動」：毎日歩く、体操などする

「栄養」：バランスの良い食事、特に蛋白質をよくとる

「社会参加」：地域活動に積極的に参加し、外出の機会を増やす  
この3つの柱が、健康寿命を伸ばしていると発表しているので、この「フレイル予防・コロナ感染予防」を実践しながら「健康寿命を伸ばし」日々楽しく過ごしていきたいと思うこの頃です。



（平成 23 年 3 月、記念植樹された茶屋ヶ坂公園内ハナミズキ）⇒



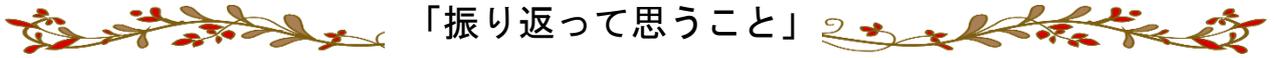
## 「30周年にあたって」

18代（平成26年度）会長 森川 利貞（25期 文化A）

30周年にあたり、会の発展にご尽力いただいた全ての会員の方々に感謝いたします。私どもが学園を卒業する当時は、各区会へ入会するのは当たり前、また何らか運営に携わることは普通感覚でした。

時は移り、入会率の低下、運営委員希望者の減少等、会を運営する方々のご苦勞も多きことかと思ひます。

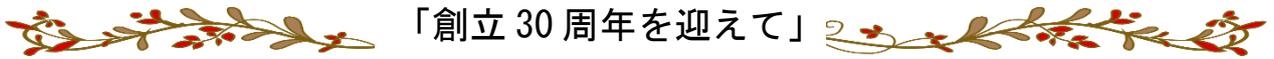
今や左脳派（言語脳）から右脳派（芸術脳）へと。学園のクラブも短歌、万葉、古文書からオカリナ、絵手紙、フラダンスへと変化。しかし変わらぬことは、「花水木鯨城会を通じて人生を楽しむ」そんな夢多き会へと益々発展しますよう、みんなで育てていきたいと思ひます。



## 「振り返って思うこと」

第19代（平成27年度）会長 大島 啓三（26期 地域）

花水木の各種委員会、地域会、同好会など沢山の方に支えられて、なんとか、会長の務めを果たせたのかな、と思ひ返している。25期の皆さんの指導をうけながら、コーヒーサロンを引き継いだとき、社協の要望である月2回実施について、26期の桐山さん、樋口さん、山下さんらを中心に話し合い、皆さんの参加をいただきながら、コーヒーサロンの運営は軌道にのり、現在に続いているものと思ひている。26期の面々では、児童館の活動支援の北村さんが素晴らしい手作りの工作を考案され、児童と楽しい時間を過ごしたことが懐かしい。広報委員長の山田さんは千種区長、千種消防署長への取材など意欲的な編集を心掛けられ、「花水木だより」の質の向上に努力され、紙面のカラー化にも取り組まれた。行事では白髪で重厚な小林さん、「趣味の作品展」の飾り付けにプロはだしだった尾崎さん、高名さん他。紹介できないが、沢山の方のご活躍が思ひ出される。感謝の一言。

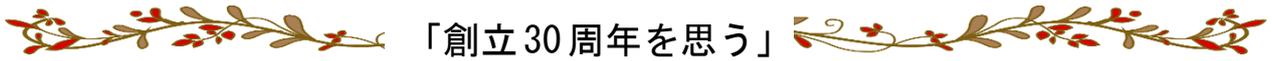


## 「創立30周年を迎えて」

第20代（平成28・29年度）会長 片山 敦久（27期 園芸）

花水木鯨城会創立30周年おめでとうございます。1991年4月30日初代会長 大塚 茂氏（3期）が花水木鯨城会を創立し30年を迎えることができました。これは歴代の会長始め役員の皆様・同好会役員の皆様・地域会役員の皆様そしてなによりも多数の花水木鯨城会会員皆様のご支援とご協力の賜物と感謝しております。これからも今まで同様、会員皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。そして花水木鯨城会の発展と会員とご家族の皆様のご健勝をお祈りしております。

さて、ここ数年鯨城会入会者が減少傾向にあり、花水木鯨城会・地域会・同好会の運営に苦慮しています。数多くの行事や催しに可能な範囲で参加いただく事が、この花水木鯨城会がいつまでも継続され会員各位が益々健康につながります。行事をもう一度確かめてみませんか。ご自身の為ご家族の為いつまでも健康で長生きしましょう。



## 「創立 30 周年を思う」

21 代（平成 30 年度）会長 松川 正信（29 期 地域 B）

花水木鯨城会創立 30 周年おめでとうございます。

「花水木だより・30 周年記念号」発刊お喜び申し上げます。

創立 30 周年を迎えた節目の年思わぬコロナ禍に遭遇、全ての花水木活動が休止に至るといふ異常事態が続いております。

不自由な生活の中にも会員の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

「花水木だより 88 号」では鯨城学園 23 期生である 10 年継続会員の紹介があり、一口コメントを拝見させていただきました。

皆さん、ほとんどの方が、地域会や趣味の同好会等で知り合い、お付き合いさせていただいている先輩方です。

又、地域のボランティア活動でもご一緒させていただきました。

多くの先輩たちに支えられ受け継がれた 30 年の重みをしっかり受け止めて次の世代にバトンを渡す役割を微力ながら努めて行きたいと思えます。

知人、血縁者なしの名古屋を終の棲家と定めて 20 年、今では多くの地域の仲間ができ、少々の社会参加活動の日常生活に彩りを感じながら、老後の一人暮らしを満喫しています。これもひとえに花水木鯨城会のおかげです。 “感謝”

最後に、花水木鯨城会の今後益々の発展と会員の皆様ご家族様のご健勝をお祈り申し上げます。



### 会 員 投 稿

## 30 年を振り返って

高橋 満里（30 期 環境）

私の家族は、30 年前ここ霞ヶ丘へ引っ越して来ました。北側の茶屋ヶ坂公園はまるで森で、南の北山墓地は不気味でした。夜、表に出ると辺り一面暗闇で恐ろしさを感じました。周辺のお家は皆、平屋で近くに税務署の宿舎がありました。長屋で煙突があったと思います。伊勢湾台風の被災者の人達用にできた長屋形式のアパートも有りました。当時、この辺は、公務員が多かったようです。

庭を持った私は、皆さん驚くと思いますが、鶏を 5 羽飼ったのです。雄はいませんが、5 匹が「クワッ、クワッ」と鳴いていました。毎日 2, 3 個の卵がコロコロと落ちてくると嬉しくて仕方が有りませんでした。

霞ヶ丘は名古屋城の天守と同じ高さです。駅には最近高層ビルが立ち並び、見降ろすと夜景が凄く綺麗です。西には鈴鹿山脈も浮かびます。

今、霞ヶ丘は新しい世代に替わりました。若い人達と仲良くしようと頑張っています。



# 花水木鯨城会のあゆみ



## 花水木鯨城会の発足

昭和 61 年 4 月 名古屋市高年大学鯨城学園開設（生活・文化・園芸）  
 63 年 3 月 第 1 期生卒業 128 名(内千種区 13 名)「こじょう会」結成  
 平成 3 年 4 月 花水木鯨城会設立 結成式は千種区役所にて  
 1~4 期の千種区在住者対象に会員数 39 名にて発足  
 24 年 4 月 千種区内 7 地域会と地域長の新設



H24. 3 月地域長準備会議

## 社会奉仕活動

平成 3 年 12 月 茶屋ヶ坂公園清掃ボランティア開始（月 2 回）  
 11 年 9 月 千種区在宅支援センター開所（3 月）後、  
 デイサービス支援活動開始 当初 3 名/日、毎週火曜日



H17. 6 月 茶屋ヶ坂公園清掃



H23. 8 月 デイサービスボランティア

平成 12 年 10 月 千種区内小・中学校における高齢者疑似体験学習の手伝い  
 14 年 5 月 千種区ボランティア連絡協議会設立  
 10 月 千種区民まつり参加（以後毎年 10 月）  
 赤い羽根共同募金参加（初回東山公園）  
 16 年 4 月 デイサービス支援活動、週 5 日に（呈茶、ドライヤー）  
 6 月 障害施設工房さんりん舎での運搬ボランティア  
 18 年 6 月 市一斉クリーンキャンペーンなごや 2006（初回荒子公園）  
 （以後毎年 6 月）



H19. 6 月 市一斉クリーンキャンペーン



H23. 12 月  
 サンタクロース派遣事業



H24. 10 月 鶴舞公園クリーンキャンペーン

平成 19 年 11 月

まちづくりキャンペーンなごや 2007 (初回久屋広場)  
(以後毎年 11 月、平成 22 年 COP10 まで)

22 年 4 月

子育て支援センターへサントクロース派遣事業開始

6 月

鯉城学園図書室ボランティア開始

23 年 10 月

千種児童館にて昔あそび事業支援 (年 5 回)

鯉城会主催、鶴舞公園クリーンキャンペーン参加  
(以後毎年 10 月)



H25. 3 月 ウィメンズ マラソン

H24. 3 月 こころの絆創膏



H23. 12 月 千種児童館

平成 24 年 3 月

マラソンフェスティバル・ナゴヤ愛知 2012 コース整理  
(ウィメンズマラソン 以後毎年 3 月)

7 月

こころの絆創膏キャンペーン (初回千種駅) (毎年実施)

鯉城会主催、堀川清掃大作戦参加

(平成 26 年から毎年 11 月実施)

社協研修室にてコーヒーサロン開始

25 年 7 月

鹿子公園清掃ボランティア開始

(茶屋ヶ坂公園と合わせ、各 1 回/月に)



H24. 7 月 コーヒーサロン

### 趣味の作品展

平成 16 年 11 月

第 1 回趣味の作品展 千種図書館にて開催 (以後毎年実施)



H16. 11 月 千種図書館



H17. 10 月 黒川ふれあいギャラリー

H20. 10 月 愛知県芸術文化センター



### 花水木だより

平成 10 年 7 月

広報誌「花水木だより」創刊 (当初全 6 頁、年 4 回発行)

23 年 4 月

創立 20 周年記念誌発行

24 年 8 月

鯉城会ホームページ「掲示板」に投稿開始

30 年 8 月

「花水木だより」81 号より全頁カラー化

**同好会活動**

平成 12 年 9 月 はなみずき健康体操クラブ発足  
 17 年 8 月 カラオケ・ダンス同好会発足  
 9 月 ウォーキング同好会発足



H19. 5 月 健康体操クラブ



H17. 8 月 かつた同好会



H20. 8 月 ダンス同好会



H24. 4 月 ウォーキング同好会

平成 18 年 4 月 パソコン同好会発足  
 20 年 7 月 ゴルフ同好会発足  
 21 年 3 月 鯉城会主催、グラウンドゴルフ交歓会開催（以後毎年開催）



H20. 8 月 パソコン同好会



H24. 11 月 写真同好会



H22. 9 月 グラウンドゴルフ交歓会

平成 22 年 4 月 グラウンドゴルフ・写真同好会、9 月、太極拳同好会発足  
 23 年 8 月 生け花とお茶同好会、9 月、クッキング同好会発足  
 24 年 6 月 囲碁同好会発足  
 30 年 4 月 将棋同好会、10 月、麻雀同好会発足

H22. 3 月 ゴルフ同好会



H22. 9 月 太極拳同好会



H23. 4 月 生け花とお茶



H24. 6 月 囲碁同好会



H23. 9 月 クッキング同好会



## 地域委員会

### 令和2年度 第1回 地域長会議



地域委員長

二宮 敏夫 (30期 福祉)



今年度第1回の地域長会議が令和2年6月23日(火)千種区社会福祉協議会の研修室で開催されました。

7地域会のうち、5地域会の会長さんが今年度交代されました。会長挨拶に続き、役員・地域長・地域幹事の自己紹介後、議事に入りました。

地域長の皆さんからは昨年の活動成果の報告や今年度の活動計画の紹介がありました。どの地域会も参加率が上がらない中で、色々と工夫をこらした行事を実施されていました。3月～6月はコロナウィルスの関係でほとんど活動が出来なかったことが悔やまれる、との反省が多く聞かれました。

これからは、コロナウィルスの感染防止対策を行いながらの活動となりますが、今後とも地域会活動にご尽力を頂きますよう宜しくお願いいたします。

### 令和2年度 地域会役員一覧

(敬称略)

地域名	役員	学区No.	期	学科	備考
今池地域会	地域長 福田 由美子	102	28	福祉	新任 (元:堀 照雄)
	幹事 ー				(元:清水勝昭)
振甫地域会	地域長 脇所 耐	105	29	生活 B	新任 (元:片山敦久)
	幹事 大村 悦郎	105	30	生活 A	留任
若水地域会	地域長 山本 一	106	23	生活 A	新任 (元:後藤基之)
	幹事 寺澤 正春	107	31	文化 B	留任
城山地域会	地域長 松川 正信	110	29	地域 B	新任 (元:伏屋信秀)
	幹事 樫澤 一也	110	31	生活 B	新任 (元:高木 収)
東星地域会	地域長 浅野 孝治	111	27	地域	新任 (元:木下幸紀)
	幹事 丹羽 文雄	109	32	地域 A	新任 (元: 不在 )
千種台地域会	地域長 西脇 弘善	113	29	地域 B	留任
	幹事 福島 好明	112	30	文化 A	留任
千種地域会	地域長 大島 啓三	115	26	地域	留任
	幹事 筒井 孝志	115	30	地域 A	留任

## 今池 地域会

福田 由美子 (28期 福祉)



今池地域会は、千種区の南西に位置し、「今池音頭」でおなじみの今池を中心に北から内山、千種、千石学区へと連なります。

今年度は、32期生1名、33期生1名の新会員を迎え、会員数39名となりました。(男性25名、女性14名)。地区行事として花水木だより発行に併せ年4回(5月1日第1回は中止)のランチ会を兼ねた会合と、社会見学、昨年度よりスタートした内山コミュニティセンターでの月1回の初心者向けの麻雀愛好会があります。

また内山学区では「鯉城かわら版」配布時にモーニング会を行っています。全学区を4つのグループにわけた各グループ長と宅配者を中心に、会員の皆様と共に「顔の見える関係作り」・「どこかで誰かがみていてくれる地域会」・「気楽に声を掛け合い、つながりの深い地域会」でありたいと思っています。

今年度は、感染症対策を策した上での慎重な地域会活動の始動です。



## 振甫 地域会

脇所 耐 (29期 生活B)



この度、前任の片山様から振甫地域長を委任され、果たして、地域長としての大役を全うする事が出来るのか些か心細いところがございましたが、片山様より今後においても、ご指導・ご支援をいただき、その役目を微力ながら果たしていきたいと、心を引き締めております。

振甫地域の会員は、総勢36名(会員数全体比12.7%/男19名・女17名)と7地域の平均人数より若干少ない人数で構成されています。

別欄(P18)にて、これまでの活動状況をご紹介しますが、他の地域同様、社会見学や親睦会、公園その他の清掃活動他諸々の活動には、誠に残念ながらご参加いただく会員様は、ほとんど同じ顔ぶれの方だという事です。健康上での理由にはご無理が出来ませんが、健康な人生生活にてお過ごしの方には何らかの機会を見つけていただき、是非ご参加下さいますようこの機会をお借り致しまして、切にお願い申し上げます。

当面はコロナ禍にて活動機会が制限されますが、先般、近隣の山本若水地域長様と後藤前地域長様及び片山前振甫地域長様と私の4名にて、両地域における一層の親睦を図る上で、共に実施できる機会を見つける事での申し合わせを致しました。情勢によってはこの秋口辺りから前向きに検討したいと考えています。

末筆ながら、会員皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

## 若水地域会

山本 一 (23期 生活A)



若水地域会は、高見学区、春岡学区から構成され、会員数は45名（高見学区33名、春岡学区12名。男性23名、女性22名）で、16期～33期まで広範囲となっています。なお、会員数は、昨年度末46名、1昨年度末45名と、ここ数年横ばい状況となっています。

当地域には市民の憩いの場としてユリの名所で知られる「千種公園」、その近くには「すいどう道緑道」（桜並木を散策できます）などもあり自然環境が豊かです。

年間定例行事等として、ランチ会4回、公園清掃、春のお花見散策、社会見学、秋の紅葉散策等を実施しています。（今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から活動自粛で4月から6月までランチ会、行事は中止）

ランチ会、行事などに参加する方がやや固定化している傾向にあるので、声を掛けあってランチ会や行事などに気軽に多くの方が参加していただければと思っています。

会員の皆様から「楽しかった」と言ってもらえるような楽しい地域会を目指したいと思っています。



## 城山地域会

松川 正信 (29期 地域B)



地下鉄東山線池下駅～本山駅に沿って東西に位置し、田代学区と見付学区からなる城山地域は、織田・徳川ゆかりの史跡や名刹、揚輝荘等、文化財が多く見られる地域です。

令和2年度の新入会員は1名、会員数は昨年から2名減の46名です。

前地域長から引継いだ「楽しい花水木鯉城会・元気な城山地域会」を目指して頑張っていきたいと思っています。

今年の抱負としては

1) 花水木鯉城会行事への参加者を増やす。

「封入チラシ」のほか効果的な情報伝達・案内・周知の手段を考えます。

2) 社会見学、食事会、美術館・博物館見学等魅力ある企画を考えます。

“鯉城会に入会してよかった”と思えるような地域会イベントを考えます。

コロナウイルス禍による緊急事態宣言が解除されたとはいえ、感染リスクを避ける行動が求められています。みんなが安心して動ける日まで今暫くは“活動自粛”が続きそうですが…。

東 星 地域会

浅野 孝治 (27期 地域)



東星地域会は「東」山と「星」ヶ丘の小学校区からなり、区内では一番新しい中学校区(東星中学校は平成3年開校)です。通勤族が多いといわれている地区で、「終の棲家」をここに決めたメンバーも多いのではないかと。従って千種区在住歴、経験も多種多様で個性豊かなメンバーが揃っています。

◎昨年度地域会独自の活動状況は (会員数 46 名)

- ①5/10 新年度の集い=前年の活動報告・今年の予定・新入会員歓迎 (参加 24 名)
- ②6/23 中川運河クルーズ&名古屋港水族館&ランチ (参加 15 名)
- ③9/26 ガラスミュージアム&ランチ (参加 19 名)
- ④11/1 各務ヶ原航空宇宙博物館&ランチ (参加 11 名)
- ⑤2/27 朝日新聞名古屋本社&ランチ (参加 8 名)

◎本年度の活動

- ・本年度は会員数 46 名 (新規加入 4 名)
- ・昨年までは地域会を 4 グループに分け「グループ毎のミーティング」「地域会の企画を各グループで分担して担当」などしてきましたが、4 グループ体制の維持が困難となり、活動縮小も検討せざるを得ない状況。
- ・そんな中で、コロナウイルス関連で 3 月以降すべての活動を休止しており、今年度の計画は(6 月現在)未策定。秋口再開を目指して、検討していきます。

千 種 台 地域会

西脇 弘善 (29期 地域B)



「活動再開も油断は禁物」

昨年に続き、2年目の地域長に就任することとなりました。

「コロナウイルス感染症」のため、4月25日(土)に予定していました「総会」も残念ながら中止の事態となり、3月から5月までの3ヶ月間は全く何の活動もできませんでした。

6月に入り「油断禁物」との警告も出ていますが、少しずつ活動を再開して行こうと思っています。皆様の参加をお待ちしております。

さて本年度の会員数は 38 名で、前年よりも 2 名減です。男性が 21 名、女性は 17 名です。活動内訳は、花水木鯉城会の行事でもある公園清掃、ボウリング大会、バスツアー、趣味の作品展、16 区フェスティバル等々に参加していきます。また 11 月頃には千種台独自の企画も計画しております。

多数の会員の方に賛同いただける、明るく、楽しい交流活動をめざします。



千種地域会

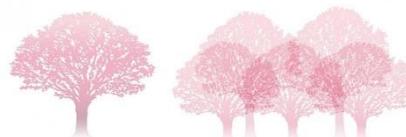
大畠 啓三 (26期 地域)



千種地域会は宮根学区と千代田橋学区からなり、北端は矢田川、東端は名東区に接しています。基幹バスがほぼ10分間隔で、栄や名古屋駅へ直通しています。春、香流川緑道は美しい桜の回廊になり、冬、千代ヶ丘からは御岳が遠望できます。

今年度33期生2名を迎え、6月現在の会員数は33名。「花水木だより」の発行にあわせて、年4回の定例会を香流橋地域センターで開いています。花水木鯉城会の行事連絡・報告や会員の近況などが主です。コロナウイルスの感染防止で5月の例会を中止したため、今年度の地域会の活動は8月例会からです。地域会の皆さんの声を伺いながら、いろいろ楽しい行事を模索していきたいと思っています。

皆さん、お仕事や地域でのご活動などでお忙しく、ご参加いただけない場合もありますが、町かどでふと出会ったときなど「お元気ですか」と気軽に挨拶が交わせる、そんな楽しい「出合い」の広がる地域会にしたいと思います。30期、31期、32期、33期の皆さんの新しい力に期待しています。



<振甫地域会補足>

振甫地域会の主な活動状況を一覧にまとめました。

下記以外の活動を含め延べ約100名が参加いたしました。

実施日	実施場所	参加人数
平成31年 4月22日	総会/宗次ランチコンサート(レストラン志摩)	10
令和 1年 6月 3日	ボウリング会(本山ボウル)/ランチ・カラオケ	10
7月 7日	茶屋ヶ坂第3公園清掃 AM8:30～	8
7月21日	鹿子公園清掃 AM8:30～	6
9月27日	歌舞伎映画鑑賞(ミッドランドシネマ/食事会(きときと))	12
11月22日	工場見学(デンソー)/食事会(レストランDスクエア)	6
令和 2年 2月 2日	茶屋ヶ坂第3公園清掃 AM9:30～	9
2月 6日	ランチ会(和食庄や)/カラオケ親睦(今池まねきねこ)	12
2月23日	鹿子公園清掃 AM9:30～	7

## 地域会交歓ボウリング大会

行事委員長 南 清貴 (31期 園芸)



7月13日(月)、花水木ボウリング大会が本山ボウルで10時より開催されました。感染防止のため、マスクを着用してのプレーと食事なしでの大会です。

参加者全員による準備体操後、二宮会長の始球式を皮切りに、ボウリング全盛の時代を謳歌した総勢33名での熱戦が繰り広げられました。

結果、個人賞1位 坂 輝枝さん 同2位 野村 嘉子さんを擁した千種地域会が地域会優勝を果たしました。個人賞3位は城山地域会の小松憲次さんでした。地域会準優勝は若水地域会。前年覇者の我が振甫地域会は3位という結果でした。



久しぶりの外での運動で、皆さんコロナを吹き飛ばして頑張っていました。

## 社会奉仕委員会

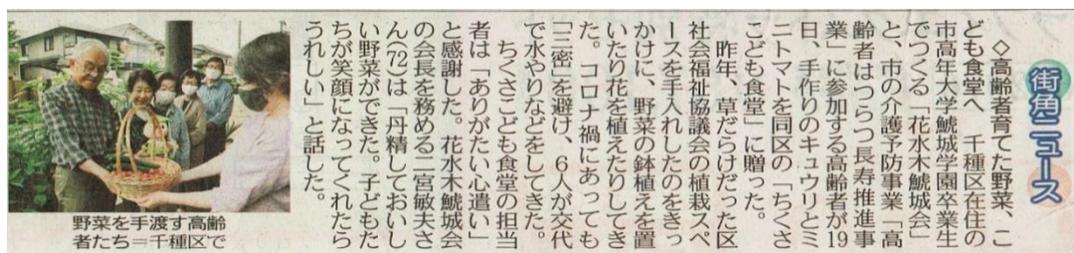
### 社会奉仕活動トピックス

社会奉仕委員長 二宮 敏夫 (30期 福祉)

新型コロナウイルスの影響で、花水木鯉城会の主要な活動である社会奉仕活動が、中止を余儀なくされています。この状況が一日も早く元に戻り、地域の皆様に喜んでいただける活動が再開できることを望まざるを得ません。そのような中、有志で行なった奉仕活動を中日新聞が取り上げてくれましたので、この期間のトピックスとして紹介させていただきます。



(6月27日  
中日新聞  
市内版より)



春に千種社協の南側庭スペースに手を入れ、野菜栽培ができるようにしました。早速担当職員さんが「Vegetable garden」と名付け、トマトやキュウリを植えたところ見事に実り、「ちくさこども食堂」にお裾分けできるようになりました。

なお、公園清掃、デイサービス支援などは順次活動を開始しておりますので、相変わらずご協力をお願いいたします。

## 令和2年度 新任役員・運営委員の紹介



### ■新任役員



副会長/総務委員長 小松 憲次 (32期 美術)

#### 赤パン から 黄パン へ

本年度、副会長・総務委員長を拝命致しました32期の小松憲次と申します。

緊急事態宣言が解除されましたが、まだまだ困難な状況が続きます。新型コロナウイルスに感染して亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、闘病中の方が一刻も早くお元気になられるようお祈り申し上げます。また医療従事者の皆様には心から感謝と敬意を表します。

これからはアフターコロナではなくウィズコロナの新しい生活様式が求められます。私達花水木鯨城会はその考え方で活動を活発化させて行きたいと考えています。30周年記念式典は開催できませんでしたが二宮会長のリーダーシップの下、「花水木に参加することが生き甲斐」と実感して頂けるよう職責を尽くしてまいります。皆様には引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

蛇足で恐縮ですが、不肖一宮市出身のラグビー狂です。ラグビーは不惑ルールに従い年代でパンツの色が決められています。不惑40代は白、知命50代は紺、還暦60代は赤、古希70代は黄、傘寿の80代は紫、卒寿90代以上はゴールドです。

還暦を迎えたある日、グラウンドに出ると主務から赤いラグパンが渡されました。「赤パンへのタックルは気を付けて」と監督からの庇護の元65歳まで現役を続けるも、ついに強く走れなくなり引退。高校から始めて大学・社会人ラグビー現役生活はちょうど50年でした。会社勤務も65歳定年で締めくくり、その後鯨城学園とのご縁が出来ました。

昨年の2019RWCラグビーワールドカップでは心身ともに若返り、各地会場への観戦応援は良き思い出です。今年札幌有感クラブより黄パン(古希の記念)が宅急便で到着しました。恥を承知で黄パン履いてどこかで思いっきりラグビーボールを蹴ってみた〜い・・・と思う昨今、嬉しい限りです。 合掌



行事委員長 南 清貴 (31期 園芸)

#### 行事委員長への抱負

鯨城学園を卒業し、シルバーも外れ、その後どうするかが課題となり、花水木鯨城会の多彩な同好会に魅力を感じ加入しました。

鯨城会同好会では、太極拳とクッキングを選び楽しんでいきます。

行事委員としてお手伝いして、たいへんな役だとは痛感していましたが、前任の福島さんが2年目で苦勞されている現状を思い、委

員長を受けることとしました。

コロナの影響で行事の中止が相次いでいましたが、皆様のご協力でボウリング大会は事故もなく終わることが出来ました。例年の芸文センターでの趣味の作品展が10月20日から開催されますので、皆様のご協力をお願いします。



総務・鯨城会担当 高橋 満里 (30期 環境)

### 鯨城会幹事2年生

今年は先輩になりました。必要から最近は自分自身の判断で行動している気がします。

先日、数カ月ぶりに鯨城会の幹事会と代議員会が開かれました。フェイスシールドも用意しました。ビニールカーテンを挟んでの会議は、経験した事の無い不思議で異様な光景に思えました。

議題は無論“今後の活動はどうするか?”です。

数カ月もの間、全ての行事は中止の連続でしたから。各区の代表者は真剣です。会員の期待を一身に背負って会議に望んでいるんだと思います。皆さん背筋がピンと伸びて気迫があります。



## ■新任運営委員(32期・33期生)



7月7日、7月度運営委員会が行われ、令和2年度の新任運営委員が初参加されました。新入会員18名のうち11名が運営委員として活動されます。

所属の委員会は下表のとおりです。

所属	氏名	期	学科	クラブ	地域会
総務委員会	小崎 喜久子	32	地域 A	パソコン	東 星
	花田 邦子	33	音 楽	旅 行	若 水
社会奉仕委員会	中山 貴代美	32	環 境	フォークソング	東 星
	片山 麗子	33	国際 A	国際文化研究	振 甫
	長江 文彦	33	国際 A	観て知る広報	千種台
	波多野 美津子	33	国際 A	水彩画	振 甫
行事委員会	坂野 照夫	32	美 術	パソコンペイント	城 山
	小林 和彦	32	国際 B	郷土史	振 甫
	竹本 由美子	33	地域 B	郷土史	振 甫
広報委員会	桑原 守	32	地域 A	写 真	今 池
会計委員会	山口 三佐子	33	生活 A	健 康	若 水

新型コロナ禍の混乱も少し落ち着きを取り戻して、同好会活動も再び動き出しました。今回は屋外型の1つと室内型2つの同好会を訪問いたしました。興味を持たれた方は連絡先にお電話をおかけください。

(取材：広報委員会)



### ■ ウォーキング同好会 (連絡先：会長 増田治彦 090-4112-0754)

梅雨入り直前の本日は東山1万歩コースを使つてのウォーキング例会です。動物園正門前に行くと… おお! たくさんのメンバーがお集まりですね。16名も!! いつもこんなに沢山参加されるのですか? 「今日は新人会員が3名参加されているので、いつもより多いですね」と会長。

ラジオ体操で軽くストレッチを行い、さあスタートです。東山のコースは起伏が激しく歩くのが大変ですが、その分退屈しないそうです。この季節は水分補給が欠かせず、こまめにブレイクがあります。気の利いたメンバーが飴なんか配ってくれます。ご馳走様です。40分ほどで中間地点の植物園入口に到着。十分運動が足りた方は、ここでさよならです。



残り半数のもっと歩きたい方は、後半のコースに向かいます。こちらにも心臓破りの登りが有りますが、ここを越えるとゴールまでほぼ下りです。全コース1時間と少々ウォーキングでした。新入会のHさん(女性)は、「思ったよりきつかったけど、満足です。次回も都合をつけて参加したいです」とのことでした。

皆さんご健脚でビックリです。いい運動をさせていただきました。

### ■ パソコン同好会 (連絡先：会長 久連石一彦 k-kureishi43@aioros.ocn.ne.jp)

マイパソコンの方、教室の備品利用の方、それぞれ準備ができたころ、「起立! 礼!」の号令がかかり、本日のレッスンがスタートしました。

皆さんのテキストを覗くと、本日はワードを使って「案内チラシ」を作成するようです。

先生がプロジェクターを使って説明を始めるや否や「先生! 画面が出ません!」と声が上がりました。すぐアシスタントさんが飛んで行ってチェックしています。先生もアシスタントさんも私たちと同年代で、相談し易そうです。先生ご自身も気さくな方で「きっちり考えなくていいよ。パソコンなんて程々で良いんだよ」などと平気でおっしゃいます。



しかし内容は吟味されているようで、疑問質問が飛び交う中、着々とチラシが形になって行きます。ご指導が面白く、取材のはずがいつの間にか無料講習生になっている私です。途中休憩をはさんで、みっちり2時間強の授業が終わり、チラシが完成いたしました。久連石会長は「月2回の講習内容は同じなので、どちらか都合の良い日に参加してください。まだまだ受け入れOKです。強いて条件を付ければ、PCメールが打てるくらいの力がある人が良いですね」とおっしゃいました。

## ■はなみずき健康体操クラブ（連絡先：会長 久連石一彦 090-3308-3906）

7月の水曜日、梅雨が続く中、元気な皆さんが千種スポーツセンターに集まりました。私達の同好会で20年の歴史を誇る、「はなみずき健康体操クラブ」のメンバーです。コロナの影響で、久しぶりの活動になり、しかも参加人数も半分に制限して(当面半数づつ1週間交代で活動)の開催になりましたが、待ちに待った64名が午前10時から11時半まで、時にゆったりと、時には音楽に合わせてリズムに乗り、少し鈍った体と心を生生きリフレッシュしました。

指導してくださるのは、鯉城学園の講師もされている、池田靖代先生と2人のアシスタントの先生。3人ともとても素敵な女性です。「体操すると、いつまでも若さと美しさを保てます」と先生。そう言えば、今日参加された会員は7,8割が女性で、その全ての方が若々しく、美しく見えました。(全員マスク着用でしたが…)



「健康体操をやった後は、すごく体が軽くなり、歩幅が一気に増える。何より先生や、仲間の皆さんに会えるのが楽しくて」と、皆さん青春の真ん中でした。

今日から5人の新入会員も加わって、ますます元気な健康体操クラブです。



## 「高齢ドライバーの運転免許証の取扱い」

山田 秋男 (26期 陶芸)

高齢者になると頻りに返納を強いる言葉を見舞われる。一考するも中々決断できないものである。認証のテストをして受けたが、来週7月19日に実技試験である。5,000円もいるのだ。

高齢者の事故は、その悲劇に身震いと背筋が凍る思いである。痛ましいことだ。しかし、高齢者の事故は大々的に報道されるが、若年層、中堅層の事故が圧倒的に多いのだ。強調されないことは不公平である。高齢者は運転技量ミスであるが、若年層は無謀運転であることが多い。

私は、80歳を過ぎた。一顧する時期に来ていると思うが、もう少し待ってと言っているうちに何か起こすかもしれないと気になることだ。悩むね。

下記の記載は、中日新聞からのアンケートの内容である。私の強情さが出ているので紹介します。



中日プラス運営部です。【75歳以上対象】中日ボイス『運転免許、自主返納しますか?』への回答を受け付けました。確認のメールを返信します。

回答内容：

**Q. 危険を感じたことありますか？**

回答 ある

[コメント] 踏み違いの経験はありませんが、走行中に煽られたり、接触しそうになったり、自転車歩行者の飛び出しに見舞われたことはありますね。運転操作上のヒヤリハットは無かったと思います。安全運転に心がけています。ドライブレコーダを取り付けて戒めの一つとしています。

**Q. 返納はいつごろか？**

回答 分からない・決めていない

[コメント] 運転技量は悪い方ではないと思います。自慢するほどの技量もありません。今年免許の書き換えです。認知症テストも終え実地試験を待つばかりです。これから3年は続けることになります。丁度、この7月が車検ですので自主返納は無いですが、心身ともに変調が生じれば早めに考えたいです。

**Q. 返納する考えはありますか？**

回答 ある。当分はこのまま継続です。

[コメント] 不慮の事故は痛ましく誠に悲しいことです。と、ともに同年配の方の惨事を聞くと自分のことの様に身が固くなり、運転ミスは恥ずかしいことです。なぜ、どうして

ちゃんと運転できないのと、周囲の方々は批判しながらも良くないことばかりを言い、報道も殊更強調して取り上げる。本当でしょうか。

人は運転席に座ると豹変するといわれますが、実際のところ真実は分かりません。どう対処あるいは対策があるのか早く見つけてほしいですね。更に、事故前に「返納」を相談されていたと紹介されていますが、本音のところ実際はそのつもりがないことが多いのではないかと。私も口にはしても今はそのつもりはないのです。

こんなアンケートに答えているが、本音です。何度も悩むのですが、現実には安全運転に心がけて行こうということです。でも、もらい事故は避けることは出来ません。想定外です。



公安からの平針運転免許場に出頭するよう命令書が届きました。

7月19日の朝、お盆供養のためお墓に行き、清掃して読経して、お迎えの準備を済ませた。ガストで妻と朝食を取り、平針の開場時間を待っていました。



3年毎の更新の際には長兄の顔を見に立ち寄るのですが、今日は時間の余裕があったので先に訪問することにした。93歳である。丁度デイサービスに出掛けるところであった。車に乗せるばかりであったが、抱え込んで運んでいるが前に進まない。二人が汗びっしょりで押し込むことが出来なく立ち往生の最中であった。足腰がダメで手伝って何とか後部座席に座らせたが、あんた誰？ときた。かなりボケが進んでいることは明白であった。

デイサービスは迎えに来るのだが乗るのを拒むという。そんな時はわかっているのだろうか。

それにしても何と哀れな姿かと深く傷ついてしまった。姉も施設に入所しているが呆け進行中と聞いている。私も、ボケの因子を抱えているのだろう。父親が晩年痴ほう症で自宅療養であったので手を焼いた。妻にかぶせてしまい、今は妻に謝罪と感謝をしている。妻に対する贖罪である。幸い、先祖の供養には厭わなく、お供えや花を切らさないように供養していてくれることは、私にとっては何よりの心安らかなことである。

そんな姿を見て、免許更新だ。複雑な思いであった。

手続きに入ったら書類が1点忘れ物である。ズーン頭に来た。何とかしろと怒鳴り返したくなった。ハット気付いた。これがいけないのだと踏みとどまった。ここまで妻に送ってもらったが、どうしようかと思案。意を決して出直すことにした。午前中受付の刻限にはあまりない。乗り継ぎ時間を気にしながら走った。走り込んだのが午前11時50分。手続きに入った。交付されたのが12時05分である。拍子抜けしたが無事済んだ。

この出来事は、私にはこれからの運転の心がけに、素晴らしい教訓になった。安全運転だ。



## 「ブリッジと私」

古田 昇 (31期 地域B)



皆さんは「ブリッジ」というゲームをご存知ですか？  
「あゝポンとかチーとかあるトランプの麻雀みたいな」。  
いいえ、それはセブンブリッジという別のゲームです。

私がいうブリッジは4人が東西南北に分かれ東西、南北がペアとなって戦う「コントラクトブリッジ」です。52枚のカードを4人に配ると、1人が13枚のカードを持ちます。これを1枚ずつ順に出して、カードの強弱で13回戦い、そのうち何回勝てるかを競うゲームです。簡単そうですがパートナーとの連携も必要で、なかなかうまくいきません。

面白いのは“オークション(セリ)”と“プレイ”という2つの段階があることです。

まず配られたカードを見て13回の内自分たちが何回勝てるかをセリにかけて、高く落とした方が実際にプレイをします。自分たちの目標が達成できれば勝ちとなり得点になります。できなければ相手側の得点になります。

“ゲーム”“スラム”というある段階を越えて達成すればボーナスが余分にもらえます。ただし、その宣言をしていなければもらえません。その見極めも面白さです。

もう1つ面白いのは、プレイが始まるとプレイヤーの相方は自分の手を開いて全員に見せます。これで自分の手と開かれた手を見て、全体の半分のカードの所在が分かります。ここから残りのカードがどちらにあるのか推理を働かせて、目標を達成します。相手側はどうしたら邪魔できるか戦略と戦術を練って、7分ほどの時間で戦うゲームです。

欧米では推理力とパートナーシップを養う競技として盛んにおこなわれています。日本ではまだあまり普及していませんが、新しい趣味として始める人が増えています。私は若いころ職場で覚えました。一時中断、退職後に再開して名古屋のセンターと香久山のクラブに通っています。最初の取っ掛かりが少々難しいのですが、覚えてしまうと奥が深く、飽きることはありません。

この面白いゲームが、花水木鯨城会の15番目の同好会として誕生できれば、と密かに思っています。

### ■デイサービスボランティア再開

コロナ騒動で中断していた、私たちのデイサービス支援活動は6月8日から再開されました。(コーヒーサロンは7月6日から再開です)

千種社協では、机の配置を変えて対面にならぬよう前向きに着席する、隣との距離をとる、など徹底的に3密を避けた状態でサービスを提供しています。

私達も衛生面に細心の注意を払って参加しましょう。



### ■野菜園は成長順調

P19で紹介しました社協南側の庭園では、その後も職員さんの愛情を受けて、トマトやキュウリが盛んに育っています。もう一度こども食堂にプレゼントできそうです。右は近影です。



### ■“ユーカーリーナ”の3Dモデルデビュー

「第4次地域福祉活動計画」のイメージキャラクターである“ユーカーリーナ”の立体モデル(縫いぐるみ)が完成しました。

今後、先輩モデルの“こあらっち” (写真左)と共に地域福祉活動計画のPRに一役買うこととなります。ちなみに“ユーカーリーナ”という名前は、コアラの好きな“ユーカリ”から来ているそうです。



### 編集後記

「花水木だより」89号は、通常の1.5倍ほどの分量になりました。思った通り編集作業は結構ハードでしたが、幸か不幸かコロナ騒動による外出自粛で、PCに向かう時間が取れたため、予定通り出稿できました。コロナに感謝?

30周年の特集には各方面、各位からたくさんのお祝辞・お言葉をいただきました。また、地域長会議では、各代表に貴重な情報をいただきました。会員の投稿も複数いただきました。皆様お忙しい中、本当に有難うございます。

広報委員会に新委員が参加されました。

広報委員会には役員・会員はもちろん、外部の方からも様々な情報が集まります。私達はそれらを伝わりやすく整理し順序付け、会員に伝達する役目を担っています。言い換えれば広報委員会は情報交換のハブであり、「花水木だより」はその伝達ツールです。このことを十分認識して、次の世代に繋いで行きたいと思っています。

(記：樫澤一也)



#### 広報委員会

委員長 樫澤 一也(31期 生活B) TEL. 090-4082-1684

委員 大村 悦郎(30期 生活A) 委員 筒井 孝志(30期 地域A)

委員 高木 収(30期 地域B) 委員 大澤 之夫(32期 陶芸)

委員 桑原 守(32期 地域A)

## 今後の行事予定

### ■第19回 16区対抗グラウンドゴルフ交歓会

- ・日 時：10月14日(水)
- ・場 所：庄内緑地公園

### ■第17回 趣味の作品展

- ・日 時：10月20日(火)～25日(日)
- ・会 場：愛知芸術文化センター 12階 アートスペースH

### ■第3回 16区フェスティバル

- ・日 時：11月18日(水)
- ・会 場：東スポーツセンター

### ■新春講演会

- ・日 時：令和3年1月14日(木)
- ・会 場：千種区社会福祉協議会



## 次号予告

### 「花水木だより 90号」



封入日：令和2年10月30日(金)

発行日：令和2年11月3日(火)

## 花水木だより 第89号

発 行 花水木鯉城会

発行日 令和2年8月4日

発行人 会 長 二宮 敏夫

編集人 広報委員長 檜澤 一也

名古屋市高年大学 鯉城学園